

# RAMおよびCPUのスパイクの解決

## 内容

---

外部のお客様/パートナー様専用：これらの手順は、お客様/パートナー様が問題を解決するために自身で次のアクションを実行する際に役立ちます。お客様やパートナーがこの手順に従って問題を解決した場合は、ライセンスサポート(<https://www.cisco.com/go/scm>)でサービスリクエストをオープンして解決してください。ライセンスサポートチーム以外の社内シスコリソースを使用している場合は、これらの操作を自分で行わないでください。

Q:SSMオンプレミスのアプリケーションでRAMとCPUのスパイクが発生し、アプリケーションが非常に遅くなることがあります。どうすればよいですか。

A:以前のリリース(8 ~ 202212以前)では、いくつかのシナリオで特定のプロセスによって引き起こされるRAMおよびCPUのスパイクを確認しました。シスコは、Cisco SSMオンプレミスリリース8-202212でこれらを解決しました。この問題を解決するには、リリース8-202212以降にアップグレードすることをお勧めします。また、SSMオンプレミスアプリケーションに十分なライセンスがあることを確認して、従来のSLデバイスがすべて準拠するようにすることで、RAMとCPUのスパイクを軽減することもできます。

従来のスマートライセンスを使用するデバイスが、デバイスからSSMオンプレミスアプリケーションへのauth\_renew要求によって継続的に攻撃を受けるなど、特定のシナリオでRAMおよびCPUのスパイクを確認しました。これに対処するために、最適化されたOK\_TRY\_AGAIN応答が追加されました。この応答は、SSMオンプレミスアプリケーションに多数の要求が読み込まれ、デバイスのメッセージの処理でビジー状態であると判断されたときにデバイスに送信されます。この応答は、一定の間隔で要求を再試行するようにデバイスに通知します。要求の負荷が増加すると、間隔が長くなり、SSMオンプレミスサーバの要求の負荷が軽減されます。

RAMとCPUのスパイクが発生したもう1つのシナリオは、SLPデバイスの同期中です。このシナリオでは、同期が非常に長い間実行されていないため、SSMオンプレミスアプリケーションには、CSSMクラウドと同期するための大量のSLPデータがあります。これを軽減するために、1週間に1回、10,000台のデバイスの負荷でCSSMクラウドとのSLP同期を実行することをお勧めします。

。



注：シスコとのSLおよびSLP同期などの特定のプロセスでは、プロセスの実行時にRAMの使用率が急激に上昇するのは正常な状態です。ただし、プロセスが終了すると通常の状態に戻ります。RAMまたはCPUの使用率が継続的に高くなる場合は、TAC\*\*にお問い合わせください。

\*\* gobackendとpumaを再起動すると、RAMとCPUのスパイクを制御できます。ただし、お客様は再起動を実行できないため、TACが関与する必要があります。

---

トラブルシューティング：

このプロセスで対処できない問題が発生した場合、ソフトウェアライセンスオプションを使用して[Support Case Manager\(SCM\)](#)（登録ユーザ専用）のライセンスケースをオープンしてください。

このドキュメントの内容についてのご意見は、[ここ](#)から送信してください。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。